

紀元 2635年
西歴 1975年

大豊

館報

昭和50年元旦



書

文字は実用を目的として作られたもので、美の対象として作られたものではなく、言葉を表す符号であった。それがいつの時代からかだんだんと美意識が強く作用して、読めるだけの文字でなく、見て美しい文字となった。毛筆によって線の深さが加えられ、さらに色々々な表現が行われ、筆者の思想、感情、個性などが表わされるようになり、文字の形と線とに重点をおいて造形されたのが書である。

モデル 久生野 永森由紀子さん(21) (文化推進協議会書道クラブ青柳会所属)

町民の英知結集 住みよい町づくりを

大豊町長 門田盛一郎



謹んで新春の御祝詞を申し上げます。昨年は国の内外共に激動の年でありました。年末には政権交代があり新しい内閣での予算編成が行われます。ものの、経済情勢は依然として深刻なものが現れ、安定成長政策による総需要抑制が引き続き堅持されることとなります。本町では、住民各位の期待にこたえるべく事業の推進に全力を傾注して取り組んでおりますが、国の総需要抑制の見地から、一部事業を抑制することとなっております。

謹んで今年で合併二十周年を迎えようとしております。「融合一体、和衷協力」をモットーとして、福祉向上を目指して参りました。議会並びに住民各位の非常な協力によりまして着々と堅実な歩みを続けることができ、心から厚く感謝申し上げます。本年からは中期計画というべき過渡期後期計画が実施にうつされます。基盤整備にかかる道路網の整備と併せ、社会施設の整備充実を図ることとしております。

今後、大豊町発展に何が必要であろうかという基本的な問題を、皆さんと深く協議しながらこれを町の施策として採り上げて実行していく覚悟であります。本年は待望の工業団地の造成も本格化し、企業導入を図る重要な年となっております。皆さんの英知を結集した「明るく住みよい大豊町」の建設に邁進する強い信念で新春を迎えたいと存じます。

議会並びに町民の皆様、どうか本年も町の飛躍的な発展のために絶大なご指導ご支援をお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

住民福祉の増進へ

本年も皆様とともに努力

町議会議長 寺石由雄



新年、あけましておめでとうございます。皆様のお多幸と一層の御活躍を心からお祈り申し上げます。現在世界の国々が直面している最も大きな問題は、はてしないインフレの暴走であり、そうした物価の上昇を抑えるため、政府は総需要抑制という厳しい制度をとり、公共支出を抑えて参りました。それがため本町においてもかなりの事業を抑制せざるを得ない結果となっております。

果となりませんが、行政事業の合理的配分と能率的実施によって住民の要求にこたえて参りました。又、今後ともそうしなければならぬことを考えております。ふり返ってみますと昨年は我が国の経済にとって最も激変に見舞われた年でありました。これからの当分続くであろうこのような異常な事態をいかに切り抜け、住民の福祉充実を確保するかは新しい年の最大の課題であると思っております。

昭和四十七年四月町制施行以来新しい町造りに皆様と共に努力して参りました。頭を悩ませずひとしからざる

「議会と致しまして、町行政全般にわたり不要不急部門の徹底的削減をはかりつつ、住民福祉につながる緊急事業はあくまでその確保をはかることが私共の課せられた使命であります。」

どうか今後とも格別の御指導御協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭の御挨拶と致します。



明けまして
おめでとう
ございます

大豊町議会

議長 寺石由雄
副議長 北村寿夫

総務常任委員会

委員長 松岡勝英
副委員長 小笠原茂
委員 上村孝行
北村春夫
松岡美夫
岡崎啓茂
鈴木友茂

建設常任委員会 (昭和49年12月15日現在)

委員長 上村周一郎
副委員長 上村辰雄
委員 小笠原武繁
秋山弘安
田辺正克
桑名芳雄

産業経済常任委員会

委員長 山中茂栄
副委員長 大坪俊郎
委員 吉村彦四郎
美濃永晴
西岡英丈

教育民生常任委員会

委員長 畑山善二郎
副委員長 大野幸二
委員 前野武盛
上村由雄
上村茂明
宮内正章

議会事務局

局長 重森元亀

昭和五十一年の新春を迎え、さ改めて感慨いたしてお年以來我が国は経済的に町民の皆様に心から御祝詞を申し上げます。何卒皆様方の教育を申し上げます。去る九月町議会におきまして、私は三度教育委員として任命を頂き、教育長に再任されました。町議会、町民各位の温かい御推挙に厚く感謝申し上げます。御承知の通り、本町も学



教育長 渡辺 盛男

厳しさの中で確実地道な 教育行政を推進

の温かい御推挙に厚く感謝申し上げます。御承知の通り、本町も学

成人式は一月十五日

該当者は百二十七人
全員参加しましょう

町教育委員会では、新春の一月十五日に成人式を行います。ことし成人になられる方は、昭和四十九年一月十六日から三十一日までの間に

権利とか、義務の重みをいかに身が引きしるべきか、成人に

成人式の服装は簡素に

婦人の汚名挽回へ

連合婦人会長 大 利 愛

皆さん明けましておめでたうございませう。日頃は婦人会活動に絶大なご協力をいただきましてありがとうございます。さて、この日は権利と責任の大きさをあらためてみずから念を押す日でもあります。もう未成年のような法律上の保護は一切とられ

渡辺氏教育長に再任

教育委員に小島貞夫氏



豊町教育長渡辺盛男氏および一身上の都合で委員を辞任された秋山信吉氏(東土居)の後任委員の選任同意

時間を守ろう



最近、県内外の市町村で、個人間の理由(結婚など)で、成人式の時間に

明るい選挙へ

宣言文を発表

ことしは選挙の当たり年です。最近、県内外の市町村で、個人間の理由(結婚など)で、成人式の時間に

季節の話題

お正月(上) 飛が活躍した三回時代の名飲むわけですが、今日ではこの風習も大分薄れたのでは

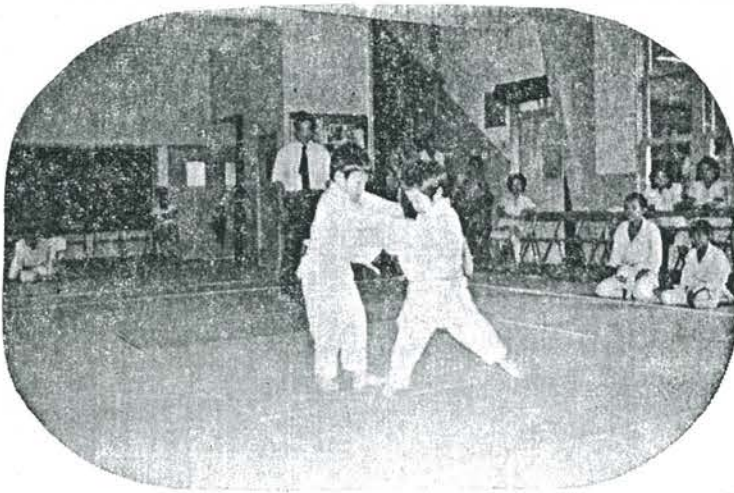
文部大臣表彰に輝く

大豊町体育会

体育を全町民のものに

大豊町体育会（秋山信吉会長）が昭和四十九年度社会体育優良団体として昨秋十月九日、文部大臣から表彰された。

表彰式には、秋山会長と、活動状況の一部である（左）地域グルミ町グルミ事務局から吉松社会教育主が、今後の課題としては、事が上京、奥野文部大臣が、さらに体育を全町民のものに表彰状と激励の言葉を授けようとする努力（例え）以下は大豊町体育会ラジオ体操の町といわれる。



毎週月・水・金と中央公民館で体育にはげむ柔道部小・中学生、一般を含め四十余名



県体出場のバレーボール部女子青年と一般女子

県体で活躍するバレーボール女子青年選手（左側）



県体で活躍するバレーボール女子青年選手（左側）

体育 四十九年度の足跡

四月 社年ソフトボール大会、地区予選、本山警察署道、理、町長杯ソフトボール大会。

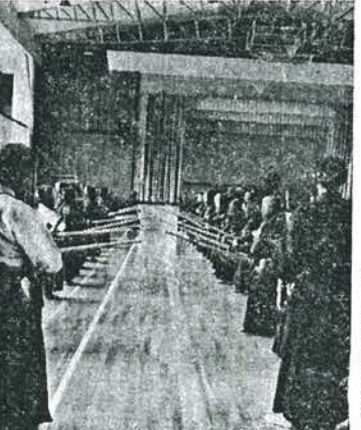
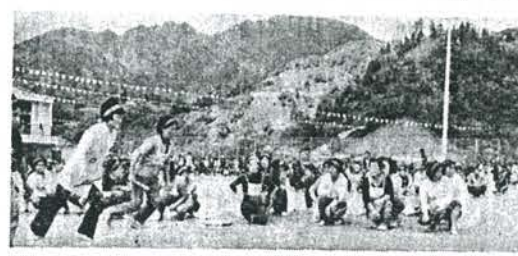
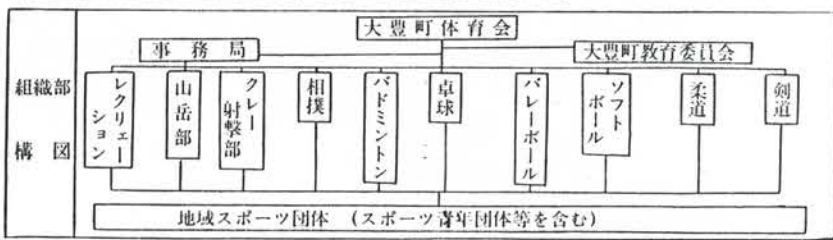
五月 代議員会、全日本一般男子ソフトボール大会、地区予選、同一一般男子県予選、柔道部合宿研修。

六月 教育長杯ソフトボール大会、ナイター試合開幕、民謡講習会、家庭婦人バレーボール大会、室戸市武道大会、クレイ射撃大会。

七月 団体ソフトボール大会、射撃、バレーボール、予選、同大会、国保バレーボール大会。

八月 第二回大豊町スポーツ大会（ソフトボール、バドミントン、剣道、卓球、女子バレーボール、一般女子バレーボール、柔道、卓球の六チーム出場）、文部大臣賞受賞、一般男子バレーボール大会、家庭婦人バレーボール大会、家庭婦人バレーボール大会、家庭婦人バレーボール大会。

九月 第二回大豊町スポーツ大会（卓球、相撲、クレイ射撃、バレーボール、予選、同大会、国保バレーボール大会。



剣道部の猛練習（大豊中）



門田町長先頭に高知市宮グラウンドを堂々入場行進する大豊選手団

グラウンドには夜間照明施設を設けて、夏場における青少年の健全育成に努めるなど、学一体育の実を挙げた。

△体育会の組織は、別掲組織図のように十部門を設け、いずれも活発な活動をつづけている。

△高知県教育委員会の推せん調査を見ると、

一、コミュニティスポーツを柱に、グループ活動を重視し、盛り上げによるスポーツ人口の拡大を図った。

二、毎年各年令毎の体力テストを実施し、自己所見に基づく長期的展望と社会的実状を把握した上で、「生きるためのスポーツ」運動の定着化につとめた。

三、社、学一体育となつて、青少年を対象とするスポーツ活動を強化し、体力と体力のバランスとスポーツを通じて培う精神的健康の向上に努力した。

四、これらの指導に当た



社会体育指導委員の資質の向上を図るため、計画的研修の実施、文部省、県の派遣等、指導体制の強化に努力してきた。

五、本会の運営について、会長を中心として、理事、評議員会、各部代表者が民主的に運営され、その決定は着実に実践化している。

六、従来、育成が比較的に困難といわれ、施設、設備の不充分である、山間地帯の本町において、スポーツの普及に努めた。

二、町民体育祭、スポーツ大会など、広く町民が参加出来る種目をとり入れ、少年から高齢者まで体育に親しむ機会を与えた。

三、家庭婦人の健全精神、健康体力の増進等へ貢献

一、社年層への体力テストなどの実施を通じて、スポーツ人口の増加を図った。

以上、この活動を通じて全町民を対象にした見聞のスポーツからなるスポーツ、楽しむスポーツへと活動を展開し、快的に町民が健康な毎日を送る体育を普及させた。

尚各部の活動状況の一部を写真で紹介する。

町民体育大会 相撲大会（杉川祭の夜）



わが町の文化財

重要文化財に

立川刈谷の小高い丘の上、物は鈴木茂友氏より大豊町にわらむしを広げたようが買ひ受け、とりあえず五な格好でとしりとすわ。十万円代で応急修理をした。江戸時代には土佐藩川合殿は山内家歴代の参勤交代の本陣であり、土佐、伊予、両国境の番所でもあった。豊町内では古くから「立川御殿」と書院盛敷は、桁行九間「御殿」と呼ばれていた。建、通称され、屋敷の前は三傍



1番所書院（御殿）

（近年地蔵堂部分も入れて）梁行六間、茅葺の大きな建物で、明治初年に一部切断された部分も合せると現在規模の倍くらいはあったらしい。寛政年間に川合惣佐衛門によって建てられたと伝えられ、その墓石銘によると



彼は天保六年（一八三五）に亡くなっているの、寛政年間の建築は先ず間違いないものと思われる。

定された立川

土佐藩参勤交代の本陣となった「立川番所書院」は昨年二月五日国の重要文化財として文部大臣から指定された。



重要文化財に指定された立川番所書院（御殿）

現在の建物は以上のように本陣の一つで、しかも、その格式部分のみであるので、正確には普通の民家とは違う一八世紀末の貴重な遺構である。

明治以後内部は、改造したり手を加えたりしているが「殿様の間」といわれ

老人洋上教室に参加して
クラブの輪を広めよう

私達六名は、大豊町各老人クラブを代表して、去る十一月十四日から二十一日まで（三泊四日）第二回高知県老人洋上教室研修視察旅行に参加しました。

ふさわしい行動を取られるの両氏の指導により「健康よう団員としての心構えについて訓示があり、船上十一時間があり、高知港到着五時三十分で名古屋港に着、バス七台に分乗しました。

て、熱田神宮参拝、明治村高知県厚生労働部副部長

出発に際して、薄淵県知事より洋上研修、他県老人との交流親善、名所旧跡の探訪と施設見学等、洋上教室の目的と意義について説明があり、見送りをうけてサンフラワー（二万）に乗り込みました。団員総数は九七名で七班に分かれ、私達は四班でありました。土長福祉事務所橋本班より、高知県代表として

見学、名古屋城見学、伊勢西尾一雄団長より「高知県神宮参拝、三重県立特養「明星堂」を訪問、那智大滝を見学し、和歌山県宇陀井港でこんどは一万三千のサンフラワーに乗り込み帰途につきました。	神宮参拝、三重県立特養「明星堂」を訪問、那智大滝を見学し、和歌山県宇陀井港でこんどは一万三千のサンフラワーに乗り込み帰途につきました。
---	---

船内では郷土史家橋詰延寿先生の一時間余の講演を拝聴し、青少年センター主幹岡本敏之、教育委員会体育保健課指導主事野島昌子

団員の中には若干疲れた方	長い船上とバスの旅で、
--------------	-------------

ただきました。団員の平均年齢は、七十三才で、中には芸西村の九十一才の方も元氣に参加されておりました。私達六名の平均年齢は六十九才で先輩の方々には誠に申し訳なく思っております。

この洋上教室は来年も引き続きいて実施されるとのことで、各クラブの会長さんは、元氣な高令者の方々を推せんされますよう希望致します。次の歌は船内で教えて戴きました老人クラブの歌(全国社会福祉協議会推せん)です。

お料理

ガイド

◆季節の農産加工◆
白菜、大根、かぶ等の冬野菜がおいしくなりまし
た。うす塩の即席漬にし
て、たっぷり食べましょ
う。

☆白菜漬
材料（白菜10kg・塩400g）

（材料の4割）赤唐辛子5
本）

作り方 一、白菜はまる
のままで洗い、二つに割り
更にくつか切り目を株の
部分にだけ入れて漬け込
み、おしふたと16kgぐらい
の重しをのせます。

る藩主宿泊の土段の間などは、柱や合天井もそのまま残っている。大がかりな建物の修理と重要文化財としての管理体制などが、今後の課題としてクローズアップされそう。

磐原永淵神楽

中国・四国大会へ出場

土佐の北辺、旧岩原村の磐原と永瀬村とに伝わる神楽を一括して磐原永瀬神楽という。両者は同種同系のもので、その昔京都の乱に破れた板倉佐仲左衛門なるものが讃岐・阿波を経てこの地に入り、定住して伝えたのがその始まりであるといふ。

春秋の氏神祭に頭舞（とこまい）を立て、神主を招いてお祭をし、酒宴を開き、次いでサンゲと称する六根清浄（ろくこんじやうじやう）の行（ぎやう）を行（な）い、十二月の月歌を歌って、ときには乱舞し、そのあととその家の庭先で神楽（かぐら）を行う。

神楽は幣舞、双刀舞、仁天舞、弓の舞、長刀舞、戸芸の舞、魚夫の舞、舟の舞、

老人クラブの輪を広げ励まし合って元気に長命を保つ舞、獅子舞など、全二十四

て下さい。

一、同じ仲間だ輪をつくれ
老人クラブはみんなの
広場
長い人生たたかいぬい
て

二、同じ仲間だ輪をつくれ
老人クラブはみんなの
広場
一人くよくよすること
やめて

番もある。

昨秋十月十二日松江市
開かれた中国四国大会に
知県代表として出場した
ここでは岩原組による
芸の舞と、永瀬組による
杵の舞が披露されて人気



話し合ったり励ましあ
つて
ともに明るくさあ生き
ぬこう

今回の参加者

都築秀徳（大久保） 大利清
栄（黒石）有沢房子（馬瀬）
今西万一（東土居） 大家千
代吉（東土居） 三谷進一郎
（怒田）（文責三谷進一郎）



頭屋宅におけるサンゲ（9月神祭）



北村守重氏による手杵の舞

二、水があがたら重しを半分量のものにとりかえ、５〜６日経つといただけますが、ここで漬けなおしをします。もちも良くおいしくなります。

三、水があがった時、亦唐辛子を散らしながら塩を使わずに漬け、５日位でいだけます。

~~~~~

**編集後記**

◆明けましておめでとうございます。本年もよろしく。

◆「新年」というときは過去のあらゆるやりそこないを帳消しにして、もう一度新しく出発する機会を人に与えてくれます。

◆「もう一度新しく」と云う正月の気分が人に喜びを与え、希望を与え、計画を与えるのではないでしょう聞かたびにめずらければほととぎすいつも初音の心地こそすれ、お正月のめずらしさはまさにこの境地でありましよう。

◆希望に輝く新春、皆様にとって、しあわせな年でありますように……。

(中西)

|       |       |      |      |      |      |      |     |
|-------|-------|------|------|------|------|------|-----|
| 町長    | 助役    | 収入役  | 出納室長 | 行政課長 | 補佐   | 住民課長 | 補佐  |
| 門田盛一郎 | 小笠原武英 | 山中万石 | 杉本信量 | 秋山義孝 | 算倉義宏 | 鎌倉紀秀 | 三浦宏 |



明けまして  
おめでとう  
ございます

頭屋宅におけるサンゲ（9月神祭）

よんだ。扁芸の舞は他地方でいう盆の舞、折敷の舞、手杵の舞は杵の本地を唱え、臼、初穂の職能を語って舞うというもので、十月

十九日には南  
国市で開かれ  
た土佐民俗芸  
能大会に出場  
した。

両部落では  
神楽保存会  
（会長下村桂  
氏）を結成し  
小中学生にも  
練習させ後継  
者を育ててい  
る。

この神楽は、県下的にも古く古文書も多いところから、日本民俗学会会員、喜知史史編さん専門委員高野啓夫先生により執筆、大豊町教育委員会発行で近く全国に紹介されることになっており、大豊町文化財等調査委員による調査も行われているので、大豊町の無文化財指定は間違いないと思われる。

☆ ☆ ☆  
☆ ☆ ☆  
☆ ☆ ☆  
☆ ☆ ☆

|                            |                  |                       |                            |                                 |                                 |                                 |                                 |                            |                  |                                                                    |                  |                                           |                                      |                                                |
|----------------------------|------------------|-----------------------|----------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|----------------------------|------------------|--------------------------------------------------------------------|------------------|-------------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------------------|
| 高<br>等<br>家<br>政<br>學<br>校 | 渡<br>辺<br>盛<br>男 | 農<br>業<br>委<br>員<br>會 | 會<br>長<br>桑<br>名<br>豐<br>茂 | 書<br>記<br>長<br>三<br>村<br>利<br>重 | 選<br>舉<br>管<br>理<br>委<br>員<br>會 | 委<br>員<br>長<br>近<br>藤<br>正<br>年 | 書<br>記<br>長<br>森<br>下<br>辰<br>雪 | 代<br>表<br>監<br>查<br>委<br>員 | 武<br>田<br>和<br>夫 | 農<br>事<br>放<br>送<br>農<br>業<br>協<br>同<br>組<br>合<br>事<br>務<br>局<br>長 | 松<br>高<br>豐<br>敏 | 嶺<br>北<br>養<br>護<br>老<br>人<br>ホ<br>ー<br>ム | 大<br>豐<br>園<br>長<br>三<br>谷<br>博<br>規 | 嶺<br>北<br>消<br>防<br>署<br>長<br>松<br>岡<br>行<br>雄 |
|----------------------------|------------------|-----------------------|----------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|----------------------------|------------------|--------------------------------------------------------------------|------------------|-------------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------------------|

|        |     |     |
|--------|-----|-----|
| 事業課長   | 西岡  | 仁司  |
| 補佐     | 小笠原 | 英彦  |
| "      | 小笠原 | 俊信  |
| 東豐永支所長 | 原   | 紀代美 |
| 西豐永    | 永野  | 秀晴  |
| 天坪     | 西岡  | 富美子 |

**教育委員會**

|             |    |    |
|-------------|----|----|
| 教育委員長       | 秋山 | 清高 |
| 教育長         | 渡辺 | 盛男 |
| 教育次長        | 岡崎 | 聡  |
| 中央公民館長      | 中西 | 盛興 |
| 學校給食共同調理場所長 |    |    |

町長 助役 収入役 出納室長 行政課長 補佐 住民課長 補佐

門田盛一郎 小笠原武英 山中万石 杉本信量 秋山信義 算倉義孝 鎌倉紀宏 三浦秀夫 都築幹夫

明けまして  
おめでとう  
ございます

